

令和6年度前期 高大連携授業 授業計画書

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 秋田キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[29] 高校生のためのアグリビジネス学入門 (秋田を救う新しい農と環境の世界)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生物資源科学部 アグリビジネス学科 准教授 近藤 正 (計4名)
授業概要	アグリビジネス学は農と食、環境と社会の総合科学。バイオテク・ハイテクから持続共生・資源循環、地域・政策・社会まで。農を軸に有機的に科学し豊かな価値を産むアグリビジネスの魅力に迫り、人類の希望を手にする。		
授業方針	農業・農村の課題や魅力と可能性について、秋田から世界まで、具体的な事例や今日的な話題を多く用いながら、身近なことから専門的なことまで、わかりやすく紹介します。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス アドミッションチーム (平日9:00~17:00) 電話: 018-872-1535 E-mail: hirameki-tokimeki@akita-pu.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数: 30名】 先着順で募集を締め切ります

第1講: 「農業の役割と支援のあり方 -秋田県大潟村における農家調査から-」 准教授 濱村 寿史

<6月29日(土)9:30~11:00>

日本で最も農業経営の大規模化が進んでいる秋田県・大潟村における農家調査の結果を紹介しつつ、農業の役割や支援のあり方について考えます。農業・食料危機に直面する日本。この危機を国としていかに乗り越え国民の食・健康を守るか? そのヒントが秋田にありました。

第2講: 「畜産技術最前線」 助教 山中 麻帆

<6月29日(土)11:10~12:40>

家畜生産では、アニマルウェルフェアや環境保全など様々な課題があり、その果たす役割はますます重要となっています。授業では、動物が生きていく上で不可欠な飼料の機能性等をその最前線の研究も交えて紹介します。

第3講: 「共生・持続の流域農業水利・水環境保全」 准教授 近藤 正

<6月29日(土)13:20~14:50>

秋田では八郎湖のアオコや雄物川のネオニコ系農薬水質汚染など農業原因の環境問題が深刻化しています。生態系を守りその力を借りて安全と持続の価値を生む「アグロエコロジー」の視点で豊かな秋田の未来を考えてみましょう。

第4講: 「環境を組み入れた新しい農業の世界」 教授 岡田 直樹

<6月29日(土)15:00~16:30>

農業には、豊かな社会を生み出す力があります。でも、環境にうまく調和できなければ、農業や農村は続かなくなります。ここでは、世界の新しい動きを追いながら、持続的な農業農村の姿を考えてみましょう。

その他	
テキスト	冊子にまとめ当日配布します
参考文献	
関連科目	